



堺化学工業株式会社

2021年3月期

決算説明会

2021年5月25日

お詫び

2021年5月11日に発生しました、弊社湯本工場での爆発・火災事故におきまして、負傷された方々にお見舞い申し上げますとともに、近隣住民の皆様、関係ご当局の皆様、株主の皆様、お客様をはじめとする多くの方々に多大なご迷惑、ご心配をおかけしましたことに深くお詫び申し上げます。

事故の原因につきましては、今後調査を進めていきます。今後、二度とこのような事故を起こさないよう、再発防止に取り組み、信頼回復に努めてまいります。

堺化学工業株式会社

代表取締役社長 矢部 正昭



湯本工場の爆発・火災事故について

5月11日に発生しました湯本工場の爆発・火災事故につきまして、5月25日現在の状況をご説明いたします。

1. 発生場所

福島県いわき市常磐岩ヶ岡町沢目1番地の1
湯本工場 亜鉛末製造工場（赤線部分）

2. 人的被害・物的損害

- ・協力会社従業員4名 重軽傷
- ・亜鉛末工場建屋の側面および屋根ならびに工場内設備が損傷しており、詳細は調査中。
- ・同工場にある酸化亜鉛工場（工業用）は影響なし。

3. 業績に与える影響

現在精査中。



亜鉛末は主に防錆塗料に使われています。
当社では湯本工場でのみ製造していました。
2021年3月期の亜鉛末の年間売上高は13億円です。

現在、工場の火災および煙は収まりましたが、工場内に残存する亜鉛末の温度低下を待っている状況であり、消防署による鎮火宣言には至っておりません。

なお、鎮火後の動きとしては、関係当局と原因調査を進める一方、専門家も含めた事故調査委員会を発足させ、事故原因究明と再発防止徹底に努めてまいります。

本説明会のポイント

■ 2021年3月期 決算概要、重要トピックス

- 上半期は新型コロナウイルスの影響により低調に推移したが、年間を通して堅調に推移した有機化学品や衛生材料などが業績の下支えをするとともに、下半期からは化粧品材料を除く製品が回復基調で推移し、売上高は微減となった。
- 一部の製品では在庫調整のため操業休止を実施し、操業休止費用を営業外で計上したため、営業利益は増益となった。しかし、70億円の減損損失を計上した結果、最終赤字となった。

■ 2022年3月期 業績予想

- 新型コロナが収束に向かうことを前提に考えて、当社グループ全体の経営環境も改善の方向で進むものと予測。
- 2022年3月期の連結業績見通し(売上高は収益認識基準の変更による影響あり)
売上高 76,400百万円 (当連結会計年度比▲10.1%)
営業利益 4,700百万円 (同 +9.2%)
- ★ 当社湯本工場で発生した爆発事故について、業績に与える影響を精査中。

目 次

- | | |
|----------------------------|--------------|
| 1. 2021年3月期決算概要 | P. 6 |
| 2. 重要トピックス(減損損失の計上) | P. 18 |
| 3. 2022年3月期業績予想 | P. 20 |



2021年3月期 決算概要



2021年3月期業績概要（対前年）

金額単位：百万円

	2020.3		2021.3		増 減	
		売上高比		売上高比		
売上高	87,177	100.0%	84,918	100.0%	▲ 2,258	▲ 2.6%
営業利益	4,015	4.6%	4,304	5.1%	289	7.2%
経常利益	4,208	4.8%	4,012	4.7%	▲ 196	▲ 4.7%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,535	2.9%	▲ 2,803	▲ 3.3%	▲ 5,339	—

◆ 売上高

有機化学品および衛生材料は堅調に推移したものの、上半期に新型コロナウイルスの影響で酸化チタン・亜鉛製品、樹脂添加剤等が低調に推移し、減収となった。

◆ 利益

製造コスト低減や全社にわたる経費節減に努め、操業休止費用を営業外で計上した結果、営業利益は増益となった。しかし、70億円の減損損失を計上したため、当期純利益は赤字となった。

※営業外費用として、操業休止費用543百万円を計上しています。



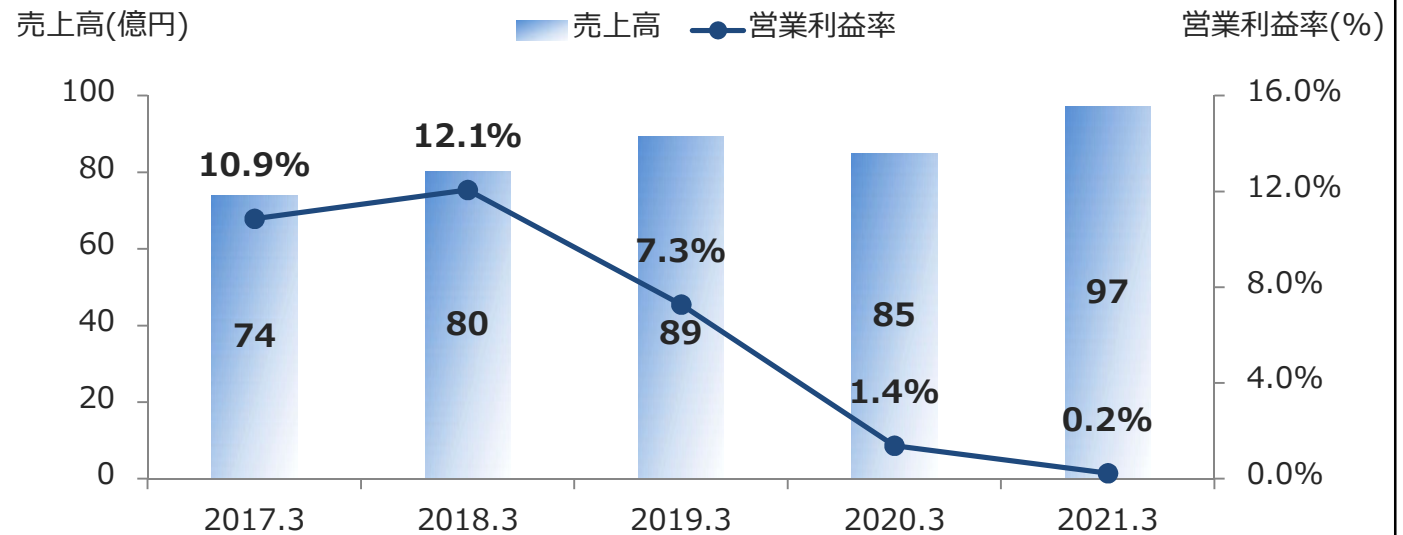
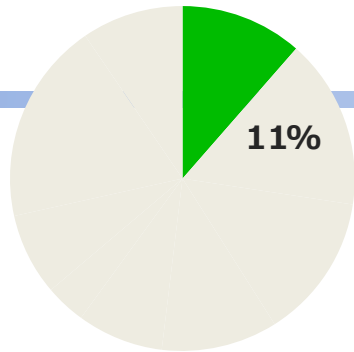
事業別売上高・営業利益

金額単位：百万円

		2020.3	2021.3	増 減	
化学事業	売上高	78,555	76,821	▲ 1,733	▲ 2.2%
	営業利益	5,614	5,731	117	2.1%
医療事業	売上高	8,621	8,096	▲ 525	▲ 6.1%
	営業利益	594	452	▲ 141	▲ 23.8%
全社費用	売上高	—	—	—	—
	本社部門費	▲ 2,193	▲ 1,880	—	—
合計	売上高	87,177	84,918	▲ 2,258	▲ 2.6%
	営業利益	4,015	4,304	289	7.2%

電子材料

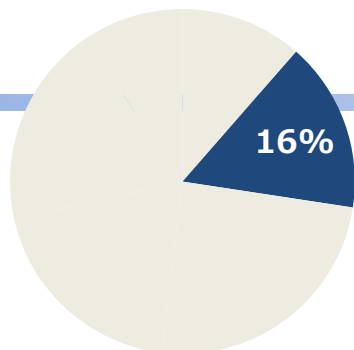
化学



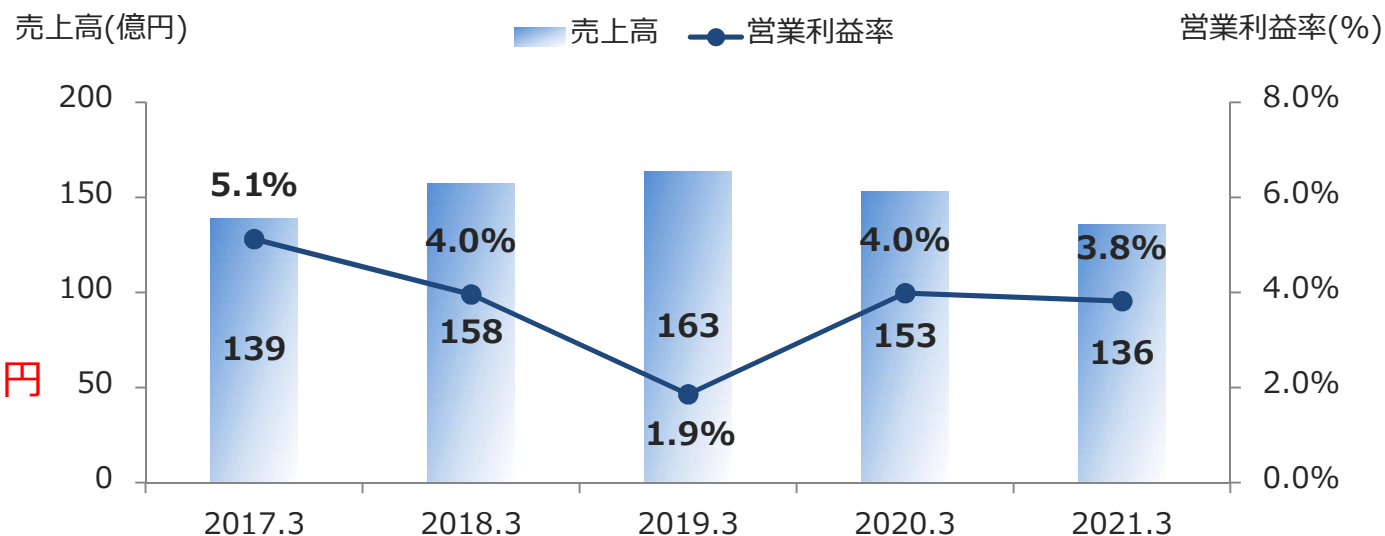
2021年3月期のポイント

- 誘電体材料（高純度炭酸バリウム）は、5G基地局やパソコン等通信機器向けが堅調に推移するとともに、上半期に低調であった車載向けが10月以降回復した。誘電体（チタン酸バリウム）についても、下半期から自動車向けも回復した結果、売上高は増加した。しかし、増強した設備に対する販売計画を大きく下回り、減価償却負担が増加し、利益は減少した。
- **前期比 売上高+1,224百万円(14.4%増)、営業利益▲94百万円(80.0%減)**

酸化チタン・亜鉛製品



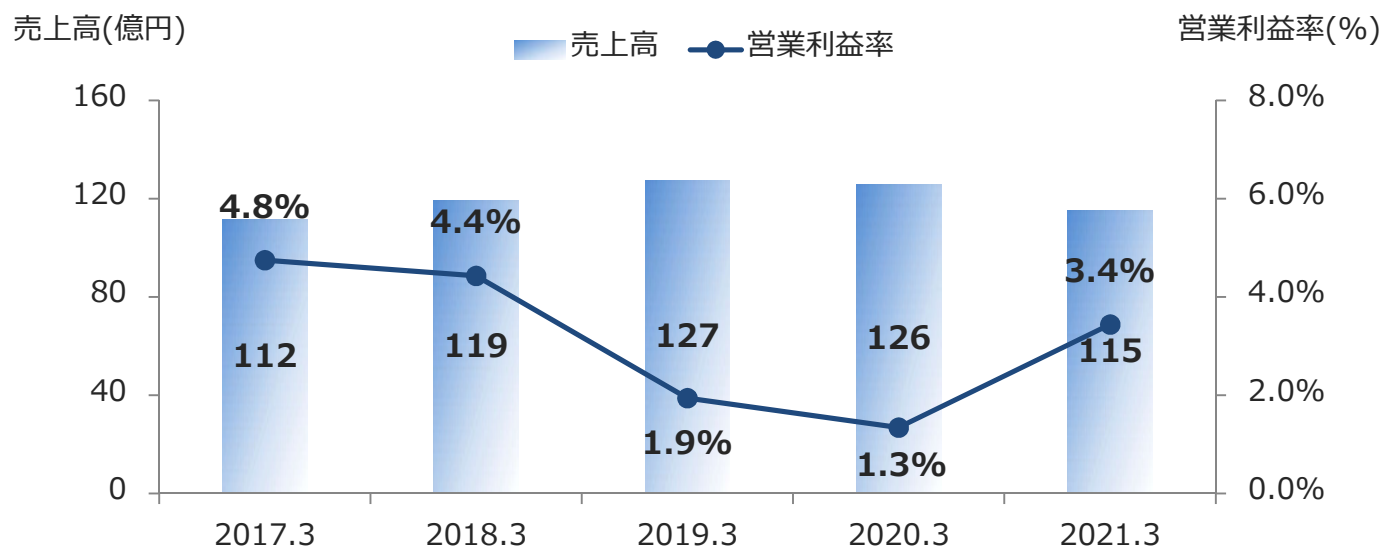
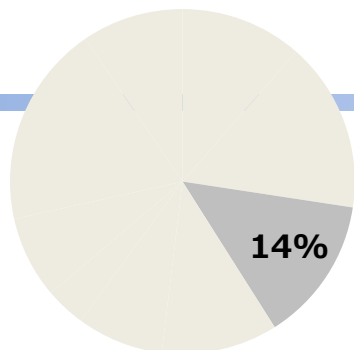
※操業休止費用382百万円
を営業外に計上



2021年3月期のポイント

- 酸化チタンは、食品包装用グラビアインキ向けが伸びたものの、その他工業用途は全般にわたって販売が振るわず、売上高は減少した。
- 亜鉛製品は、10月以降タイヤ向けが増加したものの、上半期の落ち込みをカバーできず、売上高は減少した。しかし、8月以降の亜鉛地金建値の上昇により、利益は前年度並みまで回復した。
- 化粧品材料の超微粒子酸化チタン・酸化亜鉛は、化粧品や日焼け止めの需要が減少し、売上高・利益とも大幅に減少した。
- **前期比 売上高▲1,742百万円(11.4%減)、営業利益▲92百万円(15.1%減)**

樹脂添加剤

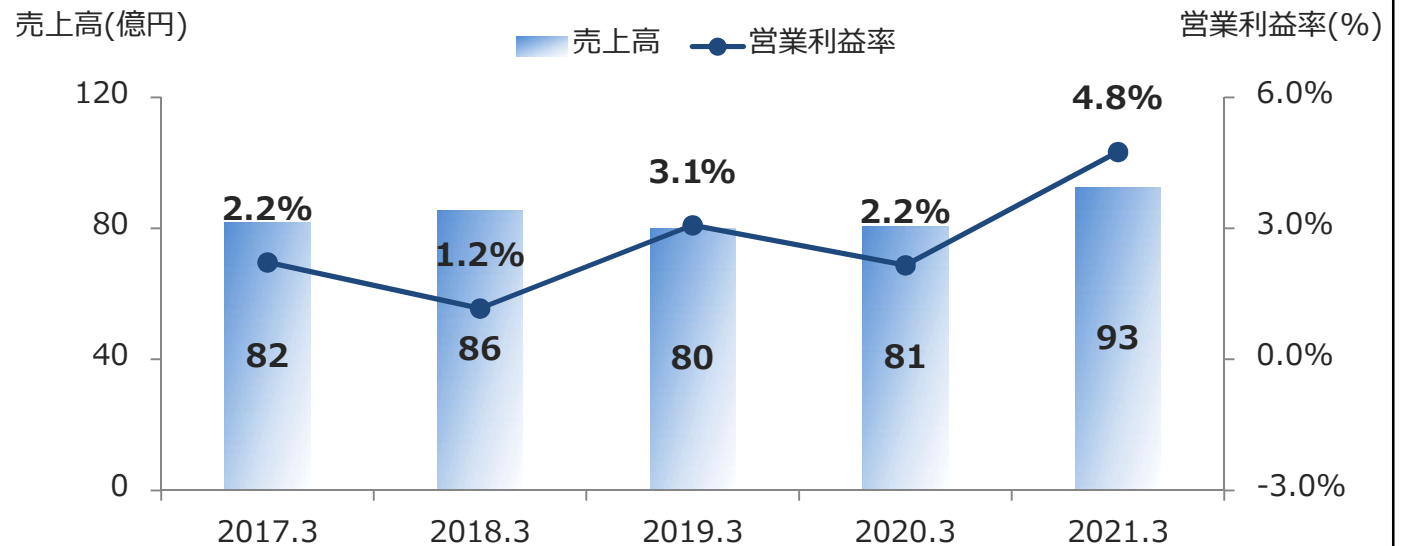
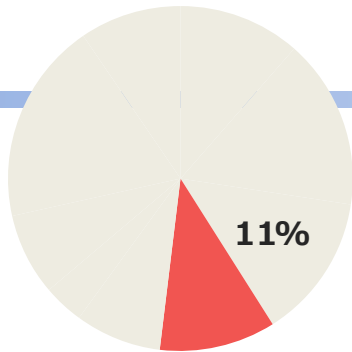


2021年3月期のポイント

- 国内においては、下半期からパイプ・継手、IT関連設備用PVC工業板が回復したものの、上半期の大きな落ち込みをカバーするには至らず、売上高・利益ともに減少した。
- 海外においては、自動車ワイヤーハーネス向けが下半期に回復するとともに、ベトナム、タイの現地法人では灌漑設備への投資が増加したことでパイプ・継手向けが好調に推移し、売上高・利益ともに増加した。
- **前期比 売上高▲1,040百万円(8.3%減), 営業利益+228百万円(135.0%増)**

衛生材料

化学

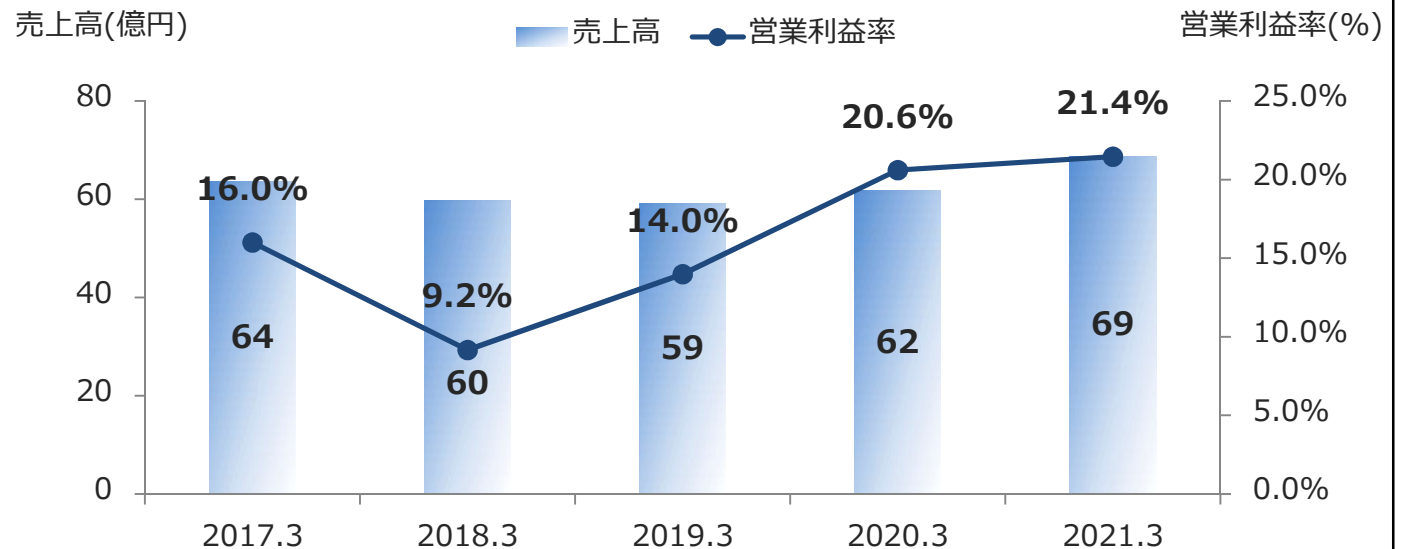
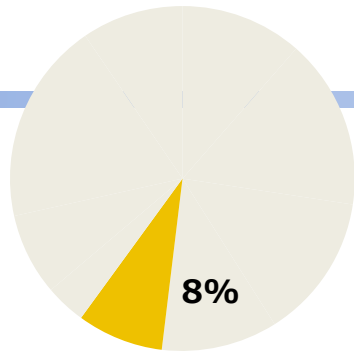


2021年3月期のポイント

- 新型コロナウイルスの影響でマスク関連製品の需要が拡大したほか、インドネシア現地法人で生産する通気性フィルム等が、紙おむつ向けの堅調さと医療関連向けの特需に支えられて販売が好調に推移した結果、売上高・利益ともに増加した。
- **前期比 売上高+1,184百万円(14.7%増)、営業利益+266百万円(152.9%増)**

有機化学品

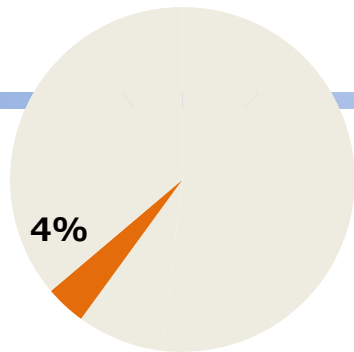
化学



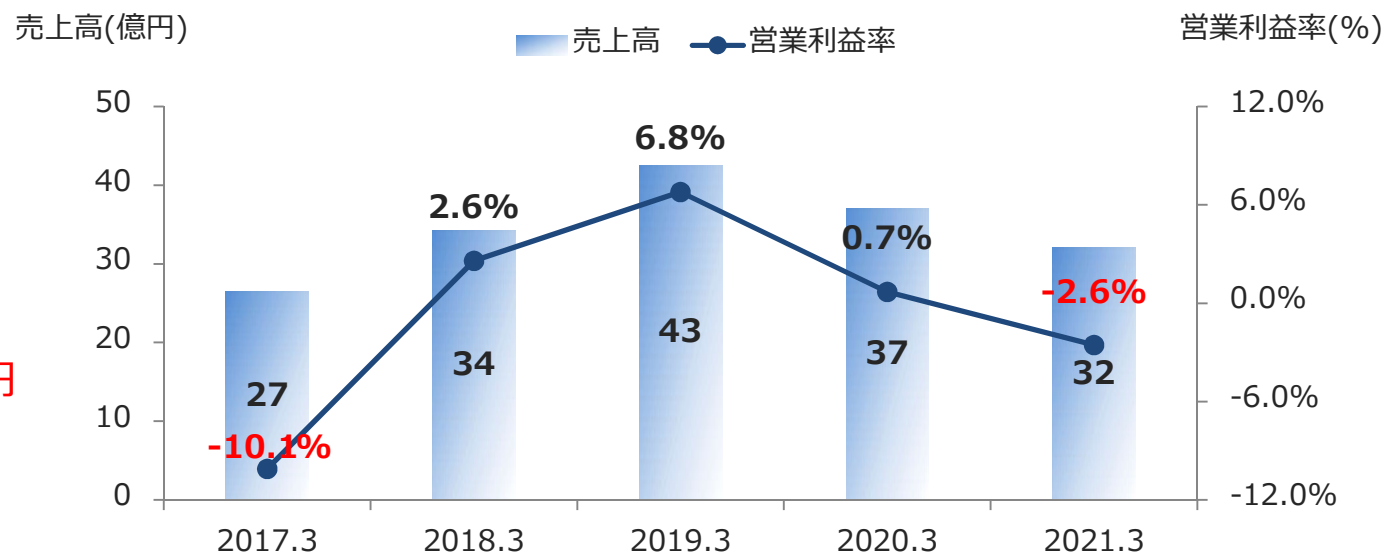
2021年3月期のポイント

- チオ製品は主用途のプラスチックレンズ向けなどが一時的な調整があったが、比較的回復の早かった輸出向けの拡販でカバーした。リン製品は自動車や各種部品製造に使用する潤滑油・工作油添加剤向けが低調に推移した結果、チオおよびリン製品のトータルでは売上高・利益ともに前年度並みとなった。
- 医薬品原薬・中間体の生産受託は、主力中間体が堅調に推移したことに加え、複数原薬の伸びと開発品のスポット生産・販売が業績に寄与し、売上高・利益ともに伸ばした。
- **前期比 売上高+710百万円(11.5%増), 営業利益+205百万円(16.1%増)**

触媒



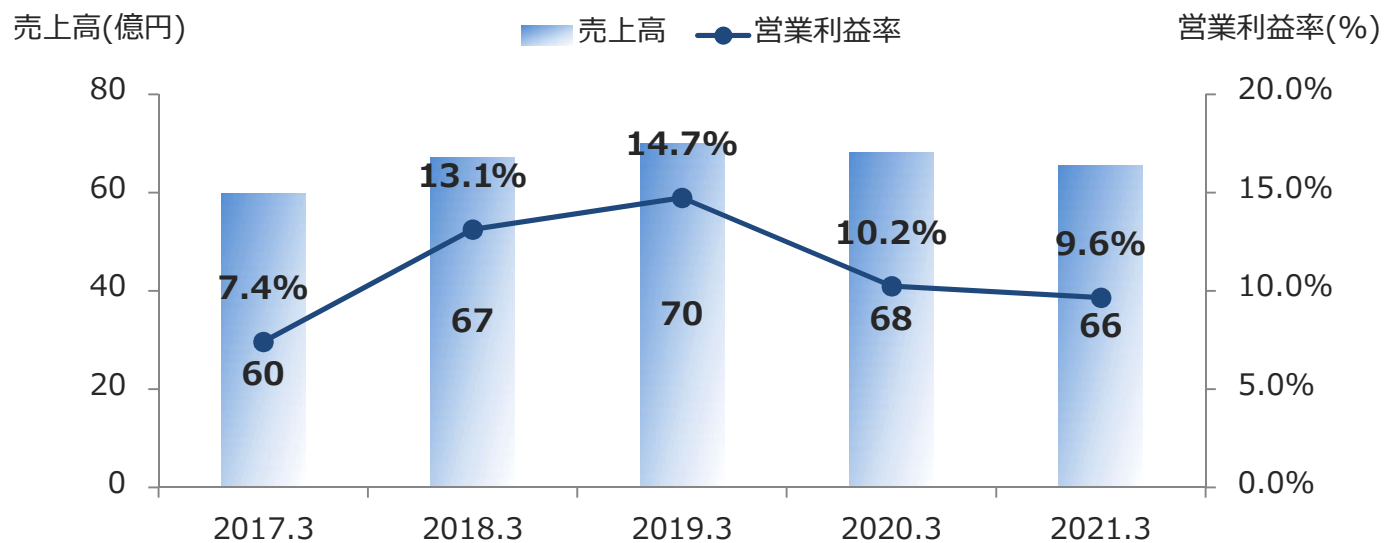
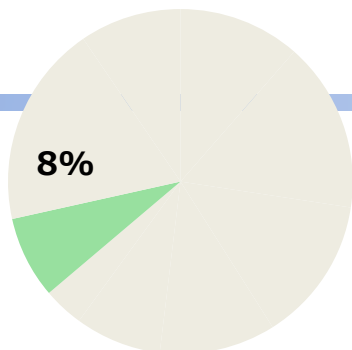
※操業休止費用37百万円
を営業外に計上



2021年3月期のポイント

- ニッケル触媒は、予定していた主要顧客の新工場立ち上げの遅れにより、計画通りに生産と販売が進まず、売上高・利益ともに減少した。
- 脱硝触媒は、国内取替需要や韓国向け新規受注を獲得できたが、納入物件が少なかった上半期の減少を補うことはできず、売上高・利益ともに減少した。
- **前期比 売上高▲493百万円(13.3%減), 営業利益▲108百万円**

受託加工

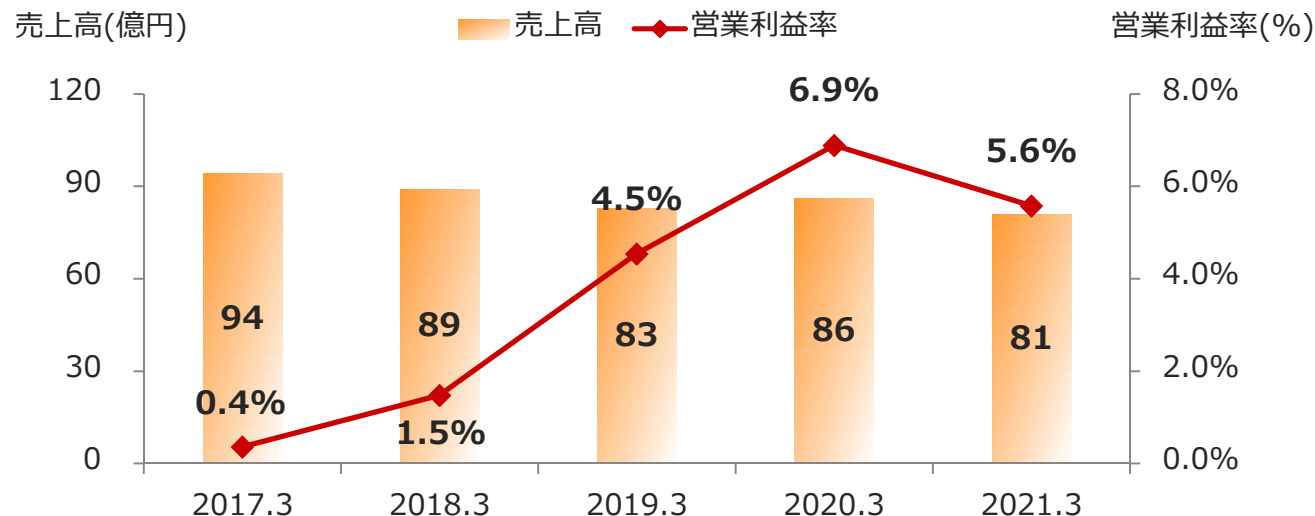
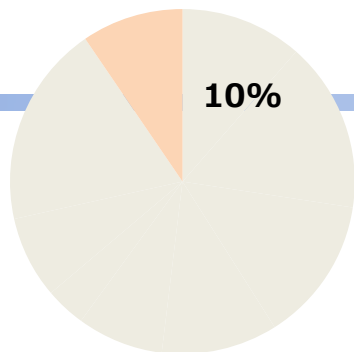


2021年3月期のポイント

- 加工顔料については、入浴剤製品は新規製品への採用と巣ごもり需要もあり好調に推移したが、自動車・食品包装用の着色剤製品における上半期の低調が響き、売上高・利益ともに減少した。
- 焼成、混合、乾燥等の工程受託については、新型コロナウイルスの影響で計画を下回る案件もあったが、売上高・利益ともに前年度並みとなった。
- **前期比 売上高▲261百万円(3.8%減), 営業利益▲66百万円(9.5%減)**

医療事業

医療



2021年3月期のポイント

- バリウム造影剤は、国内外ともに新型コロナウイルスの影響で受診者が減少した結果、売上高・利益ともに減少した。
- 「アルロイドG」は、後発品メーカーの撤退により当社品の需要回復はあったものの、薬価引き下げによる影響が大きく、売上高・利益ともに減少した。
- 内視鏡洗浄消毒器は、コロナ支援キャンペーンを打つなど積極的な販売促進活動を進め、機器本体の販売台数およびメンテナンス契約数を伸ばしたが、施術数の停滞により関連する消耗品の販売が低調に推移したため、売上高・利益ともに減少した。
- かぜ薬「改源」等一般用医薬品は、うがい薬等の売上が伸びたが、風邪の罹患者減少により主力のかぜ薬が低調に推移したことから、売上高・利益ともに減少した。

キャッシュ・フロー

金額単位：百万円

	2020.3	2021.3	増 減
期首の現金残高	11,175	9,148	▲ 2,026
税金等調整前当期純利益	3,999	▲ 2,037	▲ 6,037
減価償却費	3,686	4,243	556
その他	▲ 1,231	5,620	6,851
営業活動によるキャッシュ・フロー（営業CF）	6,454	7,826	1,372
設備の支払額	▲ 8,403	▲ 9,567	▲ 1,164
その他	▲ 21	2,145	2,166
投資活動によるキャッシュ・フロー（投資CF）	▲ 8,424	▲ 7,422	1,002
財務活動によるキャッシュ・フロー（財務CF）	▲ 68	1,667	1,735
期末の現金残高	9,148	11,153	2,004

◆ 営業CF

純利益は減少したものの、棚卸資産の圧縮により、増加した。

◆ 投資CF

電子材料および化粧品材料などの設備増強により支出が増加した一方、政策保有株式の売却により収入も増加した。



重要トピックス



2021年3月期 減損損失計上について

- 電子材料や化粧品材料を中心に戦略的投資と位置づけ、積極的に設備増強を行ってきた。
- 化粧品材料はコロナ禍によって需要が落ち込み、電子材料は生産設備の立ち上げが計画通りに進まず、収益性が低下していると判断。
- 2021年3月期決算において、特別損失として減損損失(7,041百万円)を計上

セグメント	サブセグメント	減損金額 (百万円)	備考
化学	電子材料	3,581	誘電体材料、誘電体
化学	酸化チタン・亜鉛製品	3,117	化粧品材料
化学	その他	302	
医療		38	
	合計	7,041	

2022年3月期 業績予想



2022年3月期業績予想

金額単位：百万円

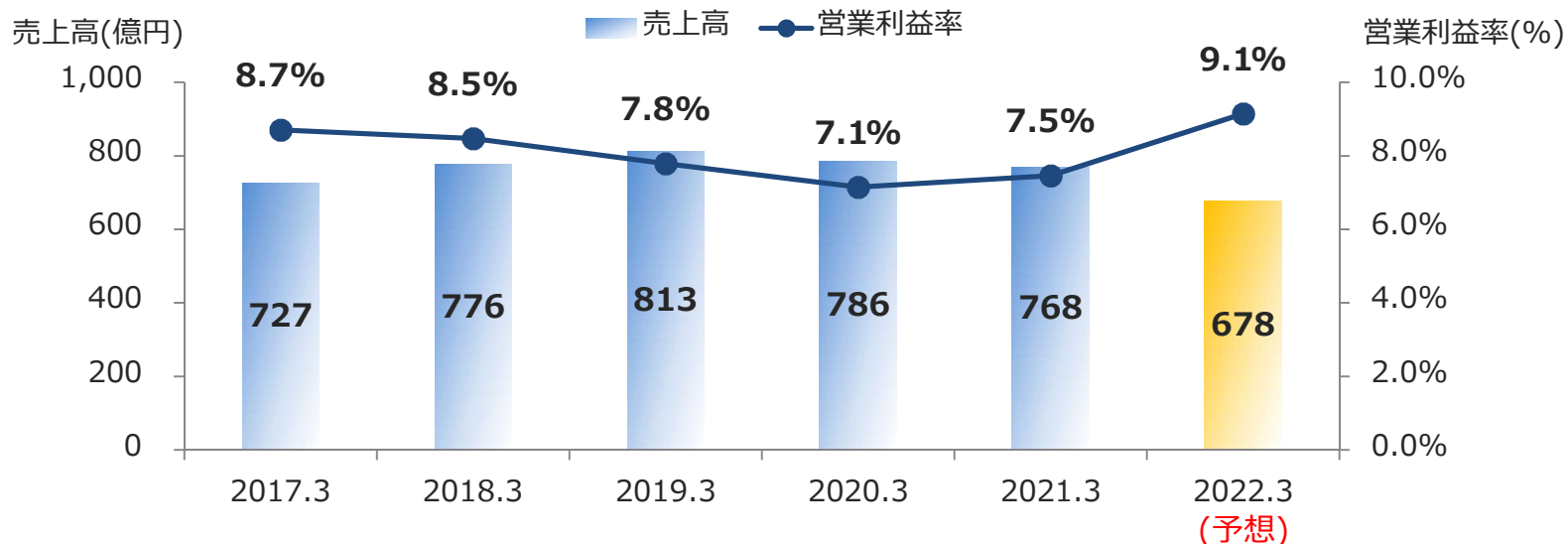
	2021.3		2022.3			
	通期実績		中間予想		通期予想	
		対前期比		対前年同期比		対前期比
売上高	84,918	▲2.6%	38,700	▲3.8%	76,300	▲10.1%
営業利益	4,304	7.2%	2,800	75.3%	4,700	9.2%
経常利益	4,012	▲4.7%	2,700	121.4%	5,100	27.1%
親会社株主に帰属する 当期純利益	▲2,803	—	1,800	222.5%	4,300	—

- ◆ 2022年3月期は、増益を予想。収益認識基準の変更により、売上高は減少する見込み。
- ◆ 化学事業は、化粧品材料は本格回復までは時間がかかるとみているが、電子材料は市況もほぼ回復し、EV化や自動運転化が進行中の車載用途、5Gが普及しつつある通信用途でハイエンド製品を中心に拡販が実り始めている。有機化学品や衛生材料は堅調を維持すると見ている。
- ◆ 医療事業は、薬価改定に影響されない医療機器関連や有望な新規ビジネスに注力し、稼ぐ力の向上に取り組む。
- ◆ 新型コロナによって景気低迷が継続する事態となった場合は、幅広い用途に使用されている酸化チタンやバリウム製品等がマイナスの影響を受ける可能性がある。

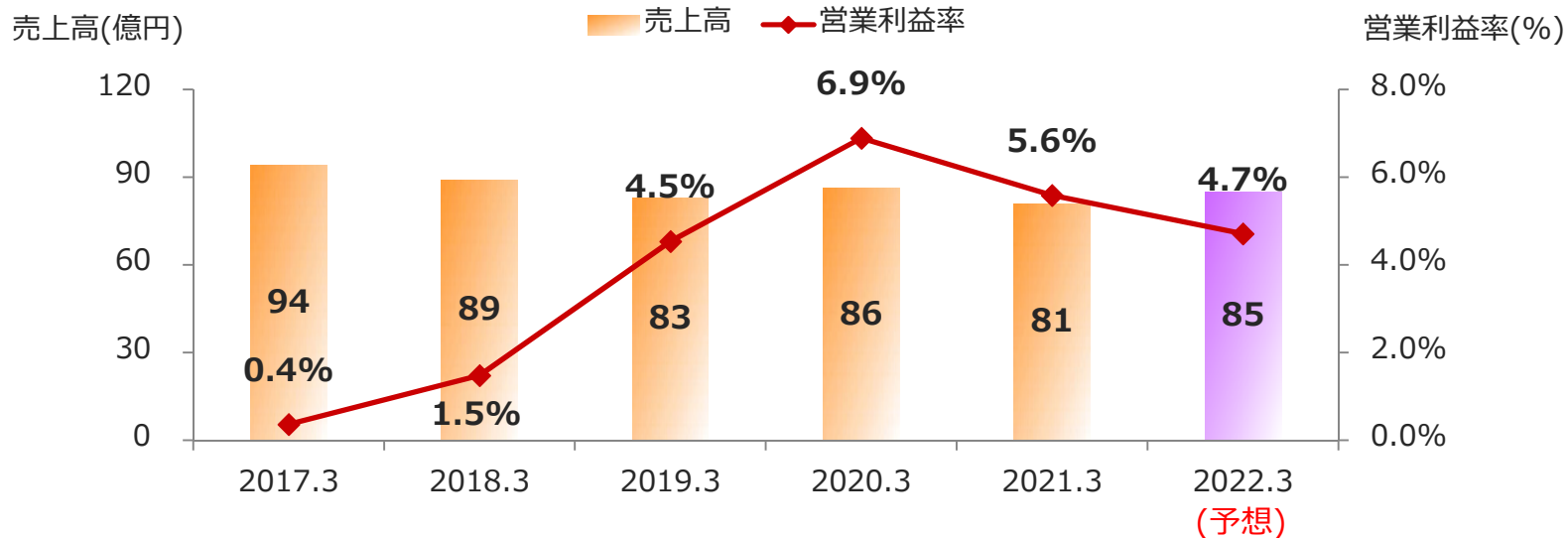
2022年3月期業績予想

化学の2021.3の売上高・営業利益率が誤って
おりましたので、修正しました (2021.5.26)

化学



医療



主要項目推移・予想

金額単位：百万円

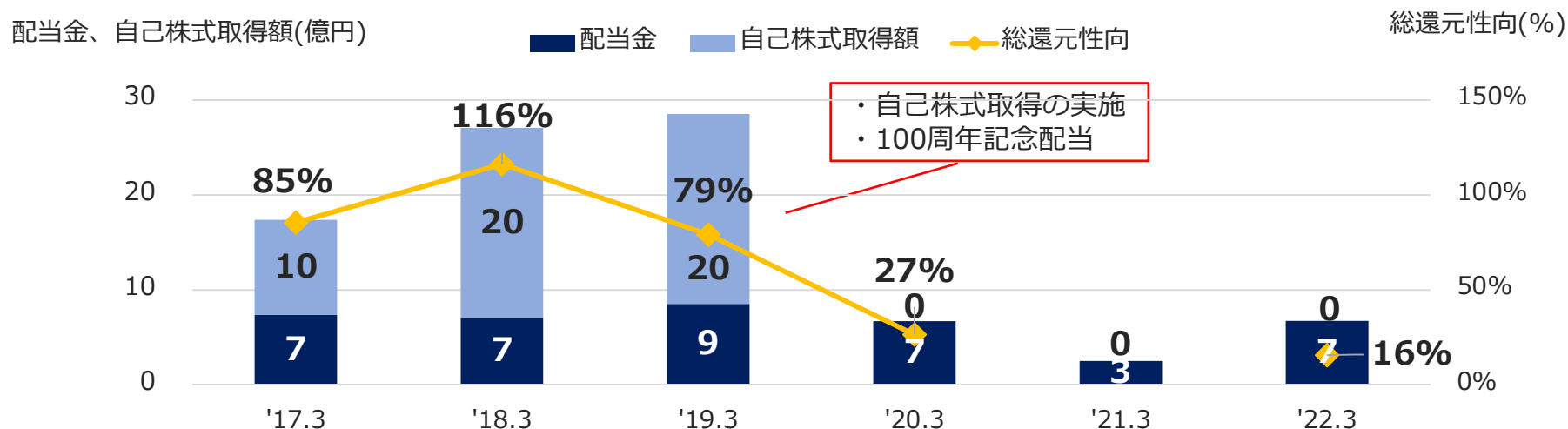
	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3	2022.3
売上高	83,938	87,223	89,541	87,177	84,918	76,300
営業利益	4,551	4,690	4,404	4,015	4,304	4,700
経常利益	4,290	4,279	4,553	4,208	4,012	5,100
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,037	2,329	3,606	2,535	▲ 2,803	4,300

設備投資	4,636	3,771	6,891	8,403	9,567	5,000
減価償却費	2,877	3,005	3,189	3,686	4,243	4,100
研究開発費	2,909	3,217	2,951	2,898	2,487	2,500



株主還元

■ 総還元性向推移



剰余金の配当につきまして当社は、株主の皆様への安定した利益還元を経営の最重要課題のひとつと位置づけたうえで、財務体質の強化と積極的な事業展開に必要な内部留保の充実を図るとともに利益動向や経営環境を勘案し、年2回の配当を実施することを基本方針としています。

当事業年度につきましては当期純損失を計上したため、誠に遺憾ではございますが、期末配当を無配とさせていただきます。この結果、2020年12月に実施済みの中間配当金1株当たり15円のみとなり、年間配当金は1株当たり15円となりました。当社といたしましては、復配させるべく業績の早期回復に努めてまいります。

2022年3月期については、中間20円、期末20円の年間40円で実施する予定です。

ご清聴ありがとうございました。

本資料は、情報の提供を目的とし、本資料による何らかの行動を勧誘するものではありません。本資料（業績計画を含む）は、現時点で入手可能な情報に基づいて当社が作成したものであり、リスクや不確実性を含んでいるため、実際の業績はこれと異なる結果となる可能性があります。

また、化学事業のサブセグメントの数値は任意で公表しているものであり、監査を受けておりませんので、参考値とご承知おきください。

ご利用に際しては、ご自身の判断にてお願いいたします。本資料に記載されている見通しや目標数値等に依存して投資判断されることにより生じうるいかなる損失に関して、当社は責任を負いません。

参 考 資 料

- 当社概要
- 事業紹介
- 業績推移等



堺化学工業(株) 会社概要

本 社	堺市堺区戎島町5丁2番地
代 表 者	代表取締役社長 矢部 正昭
創 業	1918年6月
事業内容	無機化学工業製品、有機化学品、医薬品の 開発・製造・販売
総 資 産	123,007百万円
純 資 産	79,264百万円
関係会社	連結子会社16社（国内8社、海外8社）
従業員数	連結2,009名／単体774名（2021年3月末現在）



当社グループについて

化 学【製造・販売】

堺化学工業(株)

大崎工業(株)

レジノカラー工業(株)

共同薬品(株)

SC有機化学(株)

日本カラー工業(株)

(株)片山製薬所

SAKAI CHEMICAL(VIETNAM) CO., LTD.

SIAM STABILIZERS AND CHEMICALS CO., LTD

PT. S&S HYGIENE SOLUTION

化 学【販 売】

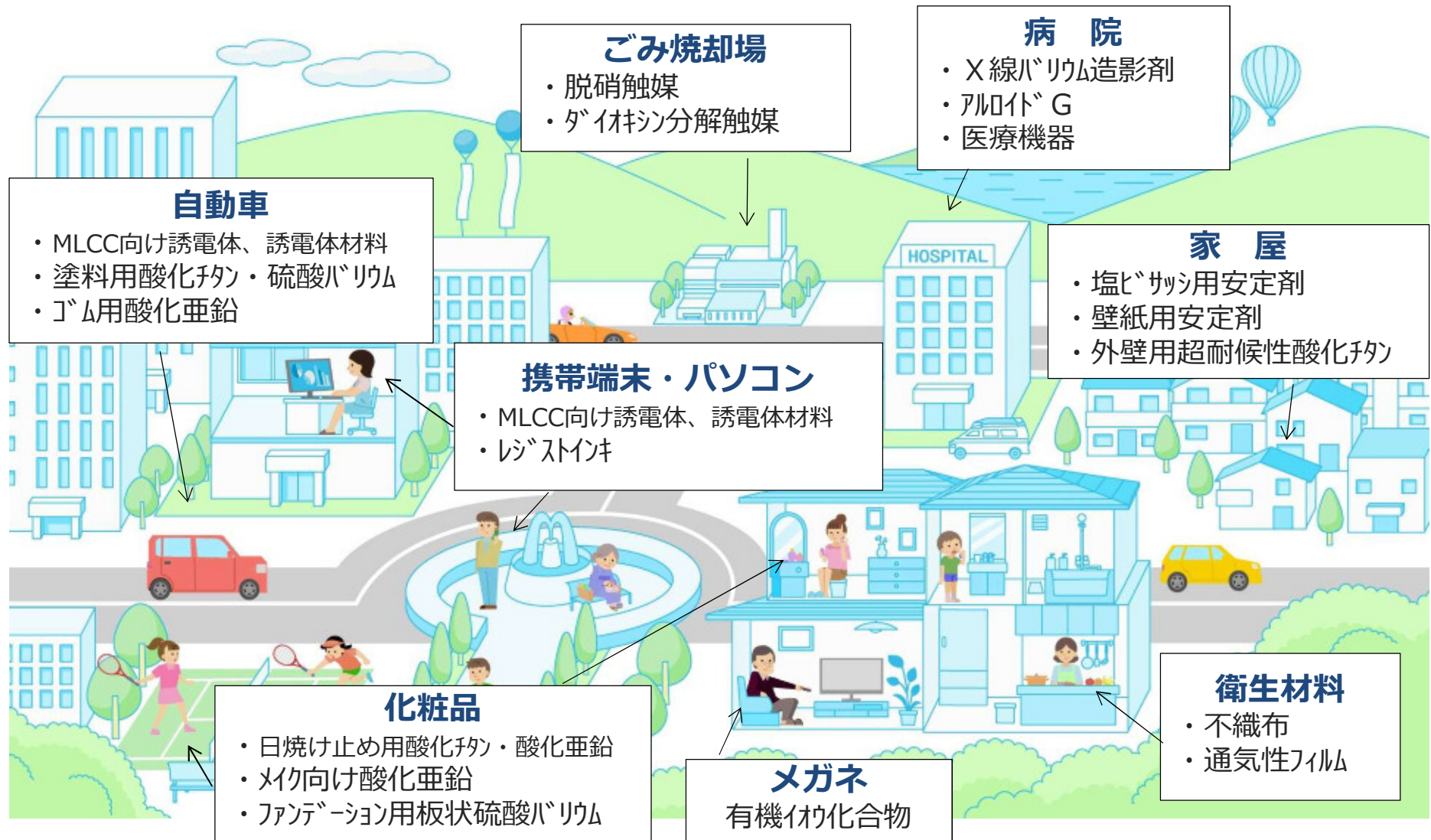
堺商事(株)

医 療【製造・販売】

カイゲンファーマ(株)



暮らしに息づく当社グループ製品



事業内容と売上高構成

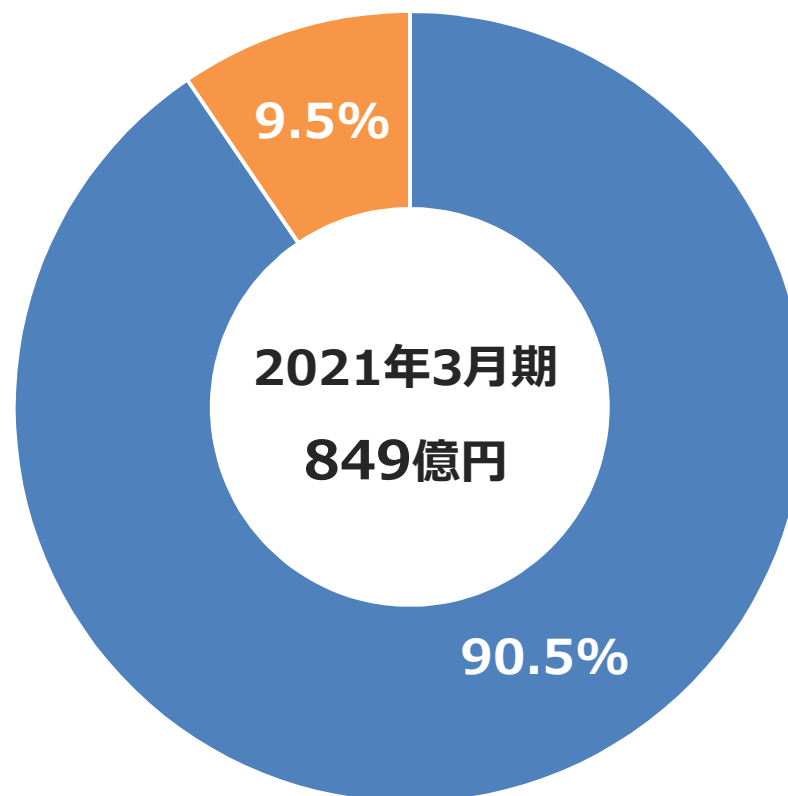
医療

バリウム製剤、アルギン酸ナトリウム製剤、医療機器、改源ブランドを柱として、医療用から一般向けまで幅広く医療と健康に貢献する製品・サービスを提供しています。



化学

天然鉱石から加工する技術や粉体をコントロールする技術などにより、さまざまな分野に素材を展開している主力事業です。

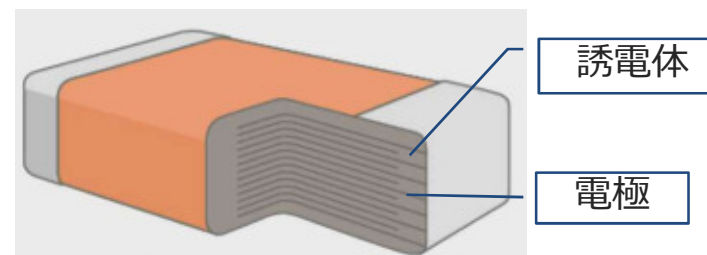


事業の紹介 <化学>

電子材料

積層セラミックコンデンサ

- ・誘電体 (チタン酸バリウム)
- ・誘電体材料 (高純度炭酸バリウム)



電子機器には欠かせない積層セラミックコンデンサのメイン材料。

誘電体は電気をたくさん貯める性質を持ちます。

当社は、微細で形が均一に揃った球状の誘電体を開発し、コンデンサの性能向上に貢献していきます。

こんなところに
使われています



事業の紹介 <化学>

酸化チタン・亜鉛製品

- ・酸化チタン…着色力、隠ぺい力、耐候性、化学的安定性に優れる白色顔料
- ・酸化亜鉛…ゴム製品の加硫促進助剤
- ・亜鉛末…建物や橋梁などのサビ止め塗料に
- ・化粧品材料…高い紫外線遮蔽や滑らかな肌触りを実現

酸化チタンは、塗料やインキ、製紙、プラスチック、化学繊維などあらゆる分野に必要とされる素材です。

酸化チタン、酸化亜鉛とともに微細にすると紫外線遮蔽率が高まるため、日焼け止めやファンデーションにも活躍しています。

こんなところに
使われています



事業の紹介 <化学>

樹脂添加剤

パイプ、継手、窓枠、壁紙、ワイヤーハーネス

・塩ビ安定剤・非塩ビ安定剤

・ハイドロタルサイト ... 非鉛系塩ビ安定剤や

高い保温性と透明性から農業用フィルムに

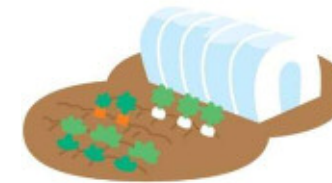


塩ビ安定剤は、樹脂の加工性向上や劣化抑制などのために

添加されます。現在、世界的に塩ビ安定剤の脱鉛化が進んでおり、非鉛系への切替えが加速しています。

ベトナム子会社では非鉛系安定剤およびその原料となるハイドロタルサイトを製造、タイ子会社では鉛系・非鉛系安定剤を製造し、いずれも東南アジアを中心に販売を拡大しています。

こんなところに
使われています



事業の紹介 <化学>

衛生材料

おむつ、生理用品

- ・ 通気性フィルム … 水分を留めて空気だけを通す

海外で需要が増加している中、インドネシア子会社では通気性フィルムを製造しています。

こんなところに
使われています



有機化学品

プラスチックレンズ、コンクリート、潤滑油、医薬品

- ・ 有機イオウ化合物 … メガネレンズの屈折率向上、
コンクリート混和剤としても
- ・ 有機リン化合物 … 潤滑油添加剤に
- ・ 医薬品原薬・中間体

こんなところに
使われています

有機イオウ化合物BMPAを国内で唯一製造しています。



事業の紹介 <化学>

触 媒

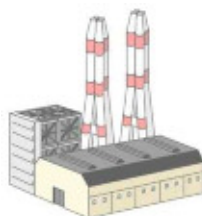
ごみ焼却場、火力発電所、マーガリン、接着剤、光学フィルム

- ・脱硝触媒 … 窒素酸化物を除去
- ・プロセス触媒(ニッケル触媒) … 油脂・樹脂の水素化など

ニッケル触媒は使用先の光学フィルムや紙おむつ接着剤の需要増加に伴い、事業を拡大を目指しています。



こんなところに
使われています



受託事業

無機・有機化学工業製品の受託製造

…顔料、着色剤、機能性インキ、触媒、樹脂添加剤など

さまざまな機械を取り揃え、幅広い分野に対応しています。



事業の紹介 <医療>



カイゲンファーマ(株)

X線バリウム造影剤

…消化管撮影

1931年に原料となる薬用硫酸バリウムの製造を開始。
定期検診でお馴染みのものですが、
海外への輸出も行っています。



医療機器

・内視鏡用洗浄消毒器

バリウムから胃カメラ検診への
移行に対応。
薬価改定の影響を受けない事業と位置
付け、開発に注力しています。



アルロイドG

…消化性潰瘍用剤

胃・十二指腸潰瘍の止血や
粘膜を保護。



一般用医薬品

・「改源」シリーズ
・カイゲン顆粒
・カイゲンパックIB顆粒



「メイドインジャパン」品質で台湾市場への販売を開始。

化学事業の製品別売上高・営業利益推移

金額単位：百万円

		2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3
電子材料	売上高	7,398	8,033	8,948	8,499	9,723
	営業利益	803	969	651	117	23
酸化チタン・亜鉛製品	売上高	13,914	15,758	16,341	15,305	13,563
	営業利益	713	624	304	610	518
樹脂添加剤	売上高	11,151	11,934	12,745	12,583	11,543
	営業利益	530	529	248	169	397
衛生材料	売上高	8,177	8,558	8,006	8,070	9,254
	営業利益	182	100	246	174	440
有機化学品	売上高	6,353	5,979	5,919	6,172	6,882
	営業利益	1,016	548	828	1,271	1,476
触 媒	売上高	2,650	3,427	4,257	3,703	3,210
	営業利益	▲ 268	89	289	26	▲ 82
受託加工	売上高	5,988	6,721	7,000	6,811	6,550
	営業利益	444	882	1,031	698	632
その他	売上高	17,053	17,218	18,040	17,412	16,079
	営業利益	1,015	800	432	356	447
合 計	売上高	72,683	77,628	81,256	78,555	76,821
	営業利益	4,435	4,541	4,029	3,421	3,851

注：営業利益から本社部門費を差し引いています。



化学事業の四半期推移

金額単位：百万円

	2020.3				2021.3			
	1Q	2Q	3Q	4Q	1Q	2Q	3Q	4Q
売上高	19,997	19,396	19,757	19,405	18,880	17,419	19,904	20,618
電子材料	2,161	2,237	1,890	2,211	2,261	2,264	2,542	2,655
酸化チタン・亜鉛製品	4,059	3,582	3,956	3,708	3,332	2,897	3,517	3,817
樹脂添加剤	3,123	3,176	3,243	3,042	2,765	2,551	3,066	3,162
衛生材料	2,159	2,027	1,967	1,917	2,337	2,411	2,200	2,306
有機化学品	1,583	1,309	1,475	1,806	2,162	1,300	1,584	1,837
触媒	903	792	952	1,056	645	837	1,033	695
受託加工	1,696	1,788	1,788	1,539	1,403	1,539	1,780	1,828
その他	4,314	4,485	4,487	4,127	3,975	3,621	4,182	4,318
営業利益	1,009	375	1,047	990	967	387	1,267	1,230

注：営業利益から本社部門費を差し引いています。



カイゲンファーマの製品別売上高推移

金額単位：百万円

	2017.3	2018.3	2019.3	2020.3	2021.3
バリウム	2,315	2,327	2,265	2,291	2,043
アルロイドG	880	860	990	1,221	1,193
医療機器	2,309	2,290	2,373	2,445	2,453
一般用医薬品	1,580	1,463	1,190	1,144	1,026
その他	1,591	1,645	1,608	1,722	1,557
合 計	8,675	8,585	8,426	8,823	8,272